

徳之島町立神之嶺小学校 ～井之川夏目踊りの伝承活動～



琉球服属時代（約500年前）には伝わっていたといわれているが詳細は不明。旧暦七月に、人々が先祖に対し収穫を感謝し、集落の平安、家々の安泰のお祝いをするためのもの。チヂン（太鼓）の打ち手3人～4人とそれを取り囲むように男性が円陣を作り、さらに女性が外回りに円陣を作り、「あつたら七月」等を歌いながら踊る構成。踊りは、「押す、拝む、こねる」の三基本型の変化形。歌は、全13種類あり、歌によって踊り方も違う。

年間を通して、保存会の方々を講師として学校に招聘し、夏目踊りの指導をしていただいている。例年、運動会での発表時は、地域の方々にも踊りに参加していただくことで、大変盛り上がっている。